

編集後記

例年通り人間科学論集第5巻を発行することができました。平成26年度は、特に大きな出来事・事件もなく、教育・研究に勤しむことのできた1年ではないかと感じています。論集では、4本の論文を掲載できました。院生や卒業生の参加した論文もあり、教育の成果が形に現れたものとして、嬉しく思います。

本号は、下斗米淳教授、大久保街亜教授、長田洋和教授のお力で完成を迎えることができました。また、波田野実習助手および榎本実習助手には、事務手続きや管理をお願いしました。本号に寄稿・投稿していただいた方々と編集に関わった方々に深く感謝申し上げます。少子化などの社会の変化に伴って、大学も変わっていかざるを得なくなっていますが、その中であつてもこうした研究発表の場が続いていくことを願っております。

(心理学編編集主幹 高田夏子)